

第 3 回定例教育委員会 会議録

開催月日 令和5年5月24日（水）

開催時間 午後 3 時 30 分から午後 5 時 05 分まで

開催場所 教育委員会室

出席委員 教育長 降旗 友宏
教育長職務代理者 岡部 和子
教育長職務代理者 松坂 浩志
委員 小澤 幸子、橋本 幸子

出席職員 教育次長 河野 公紀
教育監 市川 敏也
教育監 初鹿野 仁
次長（総務課長） 小林 洋一
教育企画室長 岩出 修司
福利給与課長 永井 研一
学校施設課長 白須 慎一
義務教育課長 小池 孝二
高校教育課長 萱沼 恵光
特別支援教育・児童生徒支援課長 鷹野 美香
生涯学習課長 平賀 貴久子
保健体育課長 山田 芳樹
企画調整主幹 中村 隆宏
総務課総括課長補佐 齊藤 七二
総務課課長補佐 河野 敏三

教育企画室
働き方改革推進監 伊藤 宏紀
室長補佐 三枝 徹
室長補佐 天野 信一
主幹 東 一孝
主査 今村 睦美

義務教育課
総括課長補佐 丸山 好彦
人事管理監 丹澤 一浩

特別支援教育・児童生徒支援課
総括課長補佐 平田 祐二

高校教育課
主査・指導主事 菅原 さき子

総務課
主査 小池 涼子

傍聴人 0 名

報道 1 名

会議要旨

〔 教育長開会宣言 〕

長澤委員から都合により会議を欠席する旨の届出があった。
議案第6号「職員の処分について」とその他報告3「山梨県図書館協議会委員の任命等について」は個人情報に関する案件である旨教育長から発言があり、出席委員全員が了承のうえ非公開とした。

1 議 案

第 3 号 令和6年度山梨県公立高等学校入学者選抜の基本事項について
〔説明〕 教育企画室

岡部委員 全国募集については賛成です。普通科にも拡大していただき良かったと思います。

教育長 ありがとうございます。
私からよろしいですか。今回、韮崎、日川、笛吹、都留の4校を全国募集に新たに追加されていますが、何か理由があったのでしょうか。

岩出室長 全国募集については基本的に各学校の特色づくりということで、例えば指定の部活などを設定して募集をしております。今お話がありました日川高校につきましては、ラグビー、ウエイトリフティングそれからバスケ、バレー、野球など、募集をしたい部活を設定した上で全国募集をしていく形になっています。
また韮崎高校につきましてはサッカー、バスケ、バレー、陸上、文化部としては吹奏楽も加わっています。
笛吹高校については特に部活の指定はなく、学校としての取り組みとして行っています。
それから都留高校は水泳を部活として設定しております。

教 育 長 笛吹高校はすごくユニークで、新しいカリキュラム作りに挑戦しているので、全国募集で他県から来ていただければ刺激になるのではないかと期待しているところです。

【原案どおり決定】

第 4 号 令和6年度山梨県立甲府工業高等学校専攻科創造工学科入学者選抜の基本事項について

〔説明〕 教育企画室

教 育 長 第1の「基本的な考え方」については松坂委員に去年ご指摘いただいたことを踏まえて今年改善を図りました。

松坂委員 よろしいでしょうか。
機械系と電子系のコースがそれぞれ5名、15名とありますが、教育のキャパの違いで定員を決めているのでしょうか？
機械系や電子系はだんだんと区切りがなくなってきていると思いますが、この定員が市場のニーズに合っているのかと思ひまして。

教 育 長 ここの考え方や実際の運用について事務方からご説明をお願いします。

岩出室長 基本的に、基本事項につきましては工業高校の先生方と調整をさせていただいております。
今、松坂委員からご指摘がありましたが、場合によっては学校での指導のキャパなども影響しているかと思いますが、ニーズという部分については今後、学校と確認していきたいと考えております。
推薦募集のところを見ていただいてもわかるように、基本的には山梨県内の機械電子関連分野で働く方を育てるという形の専攻科でありますので、その帰属については当然考えるべきところだと思います。そこについてはまたこちらの方で学校とも確認させていただきたいと思ひます。

松坂委員 そうですね。
今、電子関係や機械関係がすごく好調なので、これからも多分その分野はすごく伸びていくと思ひますので、しっかりと市場のニーズを把握されたうえで定員を決めていくのがいいのではないかと思います。

教 育 長 ありがとうございます。
ちょっと所管外かもしれませんが萱沼高校教育課長から何かご説明いただけることはありませんか。

萱沼課長 定員の考え方ですが、専攻科を作るにあたって外部の識者を入れた検討会議が平成26年か27年に開かれまして、その時に山梨県の企業にアンケートを実施しました。その結果、機械系が15名程度、電子系が5名程度が望ましいというような答申を受けて定員が設定された経緯があります。
ご指摘がありました機械電子の考え方ですが、専攻科自体がクロスカリキュラムということで機械系の生徒が電子の勉強をしたりします。よって、機械と電子、両方の技術を身につけた生徒を育成することも可能ではないかと思えます。
ただ、定員の考え方については、その時代に応じたものやニーズ等もありますので、その都度検討していく必要があると思えます。

松坂委員 よく分かりました。ありがとうございました。

【原案どおり決定】

第5号 令和6年度山梨県立甲府工業高等学校専攻科建築科入学者選抜の基本事項について
〔説明〕 教育企画室

小澤委員 専攻科建築科で卒業生は出ていますか。

岩出室長 はい。出ています。

小澤委員 卒業生は県内に就職していますか。

岩出室長 みんな県内です。

松坂委員 一級建築士か二級建築士を目指す学科だと思いますが、合格率はどれくらい

岩出室長 今までは二級建築士を持っていなければ受験できませんでしたが、昨年度入試を受け、今年度から入学した学生から、必要な課程を取って卒業すれば一級建築士を受験できるようになっております。
そして、合格すれば4年間の実務経験を経て一級建築士として登録でき、二級については合格すればすぐに登録できるカリキュラムとなっています。
合格率については確認がとれておりません。

教育長 受験者の状況、合格率については確認し、委員会終了後になるかもしれませんがご報告させていただきますのでよろしいでしょうか。
(はい。の声)
ありがとうございます。

【原案どおり決定】

第6号 職員の処分について

〔説明〕 義務教育課

(非公開：会議の要旨)

職員の処分について、事案の経緯、処分の概要、今後の対応等の説明を受け、全委員の賛同により原案どおり決定された。

【原案どおり決定】

第 7 号 山梨県立特別支援学校学則の一部を改正する規則

〔説明〕 特別支援教育・児童生徒支援課

- 橋本委員 この10年間、特別支援学級に在籍する児童生徒が年々増加する中で、特別支援学校を進学先に希望するという当事者を見てきて、病弱生徒が通学できる高校進学支援制度が整えられることになり良かったと思います。
- 教育長 ありがとうございます。
- 岡部委員 支援学校より普通学校に行きたいという子もいるが、選択肢は多くある方がよく、今回一人一人のニーズに対応できるよう門戸を広げていただき、制度を作ってくれたことに賛成です。
- 教育長 ありがとうございます。
- 松坂委員 全く同意見で、病弱生徒が通学できる支援学校ができて良かったと思います。
- 教育長 確かに小中学校には病弱生徒を受け入れる学校があったのですが、高等部にはなかったことが本県の課題の一つでありまして、今回この検討に至るまで、県内の有識者の方々や特別支援学校の先生方からもご意見をいただきながらまとめることができました。先ほど課長からも説明がありましたが、特別支援学校の入学者選抜基本事項については、来月の教育委員会会議でお諮りさせていただきます。
- 小澤委員 質問ですが、通信よりも出席日数や単位への影響が少ないということでしょうか。
- 鷹野課長 通信との比較は一概には言えませんが、これまで全日制や定時制に進学した病児生徒のうち出席日数が足りず、学校で単位を取得できないという状況があったことは把握しております。
- 教育長 それで、特別支援学校の高等部になると、出席日数が少し緩やかになるという理解でよろしいですか。
- 鷹野課長 病弱の状況に応じて、出席日数や単位については柔軟な対応が可能となります。

【原案どおり決定】

2 報告事項

(3) 令和5年度公立高等学校入学者選抜学力検査結果について

〔説明〕 高校教育課

- 教育長 説明が終わりました。平均点はだいたい何点ぐらいを目指しているのでしょうか。
- 萱沼課長 各教科50点から60点を目指しております。
- 松坂委員 平均点や最大、最小についての分布状況は毎年あまり変わらないのですか。
- 萱沼課長 はい、こういった正規分布になるところはいつも同じです。

- 松坂委員 それは総合点でも同じですか。
- 萱沼課長 はい。
- 松坂委員 分布状況は毎年同じくらいなので、県においても学力結果の分布の活用をしていけば良いと思うのですが、各学校では把握できているのですか。
- 萱沼課長 個々の分析は県では行っておりませんが、この後説明させていただきます「学力結果活用ガイド」を各学校に配布をしていますので、自分の学校にどのような学力の生徒が入学し、平均と比べてどうなのか、自分の学校に必要な教育は何なのかなどを分析するなど各学校で結果を把握できる状況にあります。そういうデータ処理は各学校に任せております。
- 松坂委員 分かりました。

【 了 知 】

- (4) 令和5年度公立高等学校入学者選抜学力検査結果活用ガイドについて
〔説明〕 高校教育課

【 了 知 】

3 その他報告

- (2) 令和6年度山梨県公立高等学校入学者選抜における前期募集選抜方法について
〔説明〕 教育企画室

- 松坂委員 今回の変更点は、学校との協議により決められたということによろしいでしょうか。
- 教 育 長 去年まで甲府西高校の校長をされていた初鹿野教育監から説明をいただいてもいいでしょうか。
- 初鹿野教育監 最終的には今年度の校長の判断で決められています。
- 教 育 長 前期募集全体を考えた上で、教育委員会事務局と何かやりとりをされているのですか。
- 初鹿野教育監 各学校が主体的に現場の状況をみながら議論しています。
- 松坂委員 現場の判断でそのあたりがうまく反映されていれば良いと思います。
- 教 育 長 校長が交代する学校は、そのあたりもしっかり引き継ぎがされているものなのでしょうか。
- 初鹿野教育監 入試の総括も踏まえて年度末までには次年度の方向性を考えますが、最終的には新年度の職員会議を経て、学校長が決裁し、県に書類を提出することになります。
- 教 育 長 前期募集の結果を見て、速やかに次年度の対策を立てているようです。
- 松坂委員 例えば韮崎工業高校を見ると選抜のところの内容を変えていて、選抜の所見の配分を2倍にしているんですね。全体の流れから逆行しているようにみえるが、これまでの経緯があり、所見のところを重視してきたのだらうと思います。今後はそのように、学校ごとの見直しが進んでいくのかもたしれないですね。

教 育 長 そういう意味では、どの部分に重きを置いてるのか各学校の考えが見える非常に興味深い資料だと思います。
 韮崎工業高校が選抜資料比重のところを今回このように見直したことについて、事務局で何か情報をもっていますか。

岩 出 室 長 所見を変えたことについて、どのような意図があったのかというところまで確認ができていませんが、中学校3年間の取組を評価してあげようということが考えられます。

【 了 知 】

(3) 山梨県図書館協議会委員の任命等について

 〔説明〕生涯学習課

 (非公開：会議の要旨)

 山梨県図書館協議会委員の委嘱について、委嘱の基準に関する説明や委嘱する委員名簿の提示があり、了知された。

【 了 知 】

〔 教育長閉会宣言 〕

以 上